

心ひとつに ～運動で秋満喫～



10月21日(金)お天気に恵まれ晴天の空の下、秋のスポーツ会を実施しました。
久しぶりに利用者様全員がグラウンドと体育棟に集まりラジオ体操を行い、にぎやかなスタートをきりました。
ラジオ体操の後は赤組と白組に分かれ、ポッチャ、玉入れ、フライングディスクを楽しみました。特にフライングディスクではなかなかの当たったことがむずかしく、的に当たった時は歓声と喜びで盛り上がりました。



お昼はお弁当を用意しレジャーシートを広げ、青空の下で美味しく頂きました。
午後からはスカットボールと、利用者様と職員合同でリレーをし、皆さん頑張って走られ大変盛り上がりしました。(今井宏幸)



まがたま

令和4年 11月 第135号
社会福祉法人上口福祉会
障害者支援施設まがたま

〒699-0201
松江市玉湯町玉造1649-2

TEL0852-62-2535
FAX0852-62-2586

食欲の秋到来しました！新米をはじめ、さつまいもやかぼちゃ、栗や鮭、そのほかにもさまざまな野菜や果物が旬を迎えましたね。施設では秋の献立として栗ご飯や柿なますなどを提供しみんなで秋を楽しみました。

給食便り



秋の献立



ハロウィン献立

トリックオアトリート♪ハロウィンと言えばカボチャですね。31日はかぼちゃデザート、クリームパスタ、キッシュ、紫キャベツサラダを提供しました。オレンジ・紫色などハロウィンを楽しめる彩りの食事になりました。(管理栄養士 川西美希)

憩いの花壇 ～みんなを癒やす場所～



10月27日(木)に環境美化委員会主催のフラワーフェスティバルを開催しました。
天候にも恵まれ、たくさんの方々が来場し、職員も皆ご参加いただきました！当日は、職員によるフラダンス、ミニコンサート、カラオケ大会を行いました。
これから新たな花壇の始まりです。秋晴れの空の下、利用者さんと一緒に花壇まで出掛け、水やりをしていこうと考えております。
利用者様、職員が植えられたお花たちが色鮮やかに開花することを委員の一同願っております。(黒崎由衣)

食欲の秋 秋を味わおう！
調理室より夏の献立を紹介しします

編集後記



編集後記
編集長 松岡隼矢
編集委員 石田裕雅 小室唯奈

先日、雨上がりにまがたままでは、綺麗な虹がかかりました。みんな空を見ながら、明るい気持ちになりました。最近、肌寒くなり、体調の変化もあると思いますが、しっかりと防寒対策をして寒さを乗り越えましょう！(小室)



苦情受付

今回は苦情が2件ありました。
まがたま機関紙が違う宛先に届いているので、次回から直して徹底してほしい。
手のひら、指の間の垢が多かった。綺麗にしてほしい。
これらの苦情につきましては、ご本人やご家族様へ、経緯や原因をお話させて頂くと共に、今後の対応についてご説明させて頂いたいただき、ご理解頂きました。
今後、皆様からの苦情やご要望を真摯に受け止め、安心・安全な施設づくりに努めて参ります。

～学びの中で気づくこと～ 笑いある日々



生活支援員
五十嵐 与志子

研修報告

7月25日から8月15日までオンラインにて受講しました。主催は、日本てんかん協会。
てんかんの専門医が項目ごとに講義され、発作症状の多彩なこと大変身近な病気であること、何よりも驚いたのは、利用者様に発作が起こった時、動画を撮ることやむやみな救急医療が状態を悪くする時もある事など一般的には思いつかない対応が要求されることでした。
そして、てんかん発作の怖れによって、患者さんの日常を豊かに笑いある日々から遠ざけることのないよう、家族や周囲の人々の理解と助力が必要だという事が分かりました。
今後の支援活動に役立てていこうと思います。

当広報に掲載された写真につきましては、プライバシーに配慮し、予め、掲載の同意を得ています。

～防災でつながる未来～ 命を守る



まがたまでは、年に2回の避難訓練を実施しています。今回の訓練では、初期消火、消火への逆信対応、対策本部設置、避難誘導、負傷者の搬送や救護を行い、職員、利用者様一人一人が真剣に取り組みました。また、消火訓練も行いました。

災害はいつどんな形で発生するかわかりません。きっと訓練ではない災害時には、パニックに陥る方も当然出てくると思います。どんな状況でも咄嗟に命が助かる行動がイメージできるように、日常的に頭の中で行う防災訓練を実施し、防災力を鍛えていきたいと思えます。

(安全副委員長 烏田龍治)

10月12日に、総合避難訓練と併せ炊き出し訓練を行いました。新人職員を含め、多くの職員が参加し、災害時に非常食を使って食事提供を行えるように訓練をしました。

食材の運び出し、温め、盛り付けをし、同時に食事作りや食事場のテント設置を分担して行いました。

参加職員みんなで声掛けをし、混乱もなくスムーズに準備ができました。

こうした訓練を繰り返し行うことで、災害時に備えられる施設でありたいと思えます。

(給食副委員長 伊藤美由紀)

ピンクや白、時には紫の色鮮やかな花を咲かせるコスモス。まがたまでは、毎年10月になると短期入所横に綺麗なコスモスが咲き誇ります。

そこで、今年も園芸班が中心となって、利用者様、職員で楽しく種を植えました。コスモス畑が満開に咲くと、気温も心地よく、天気の良い日には皆で散歩にでかけ、「秋の花」を眺めながら楽しく過ごしました。

四季折々で、色々な花を咲かせる「まがたま花畑」次はどんな花を咲かせるか今から楽しみです。

(副班長 錦織優気)

秋の花 ～癒やしのスポット～



仲間と結束 今あるものに感謝して

私たちも、綺麗にしていたいた生徒さんへの感謝の気持ちを伝えるとともに、活動場所を使わせていただいているという気持ちを持って、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

(松岡隼矢)



10月4日、6日に松江養護学校乃木校舎の生徒さんが、作業実習として、まがたまの活動場所の清掃に来られました。「よろしくお願います！」と大きな掛け声とともに、一人一人が靴を並べて現場に入られました。

3年生のリーダーによる、掃除場所の具体的な指示や役割の振り分けは適格であり、リーダーに続く1・2年生の素早い取り掛かる姿には、まさに圧倒されました。

また掃除をする際も、ほうきの柄の部分が壁に当たって傷がつかないように、柄を手で覆って掃いたり、掃除道具を床に置く際にはブルーシートを敷き、一目見たときに道具を選びやすいよう綺麗に整理して置かれていました。道具を大切に使い、道具への感謝の気持ちが表示されていると感じました。

おでかけ日和 ～自然に包まれて～



10月14日(金) 二すもす班では「しまね花の郷」へ班外出を行いました。

当日は秋晴れ！歩くと汗ばむ程の陽気で、絶好お出かけ日和となりました。

目的地に行く途中、宍道町の「くじら軒」さんでお弁当を購入し、花の郷へ着くと、こすもすをはじめ色とりどりの秋の花々がお出迎えてくれました。

花を眺めながらゆっくり歩き、小さな公園に着くと、お待ちかねのお弁当タイム！ベンチに座り大きなから揚げを皆で食べました。

久しぶりの外出でしたが、綺麗な花に癒やされ、お腹も満たされて、利用者様の普段と違う穏やかな笑顔が見られたように思います。

(松浦弓恵)

出雲路を爽快に 沿道の声援を受けながら



10月30日(日)、秋晴れの空の下、第44回一畑薬師マラソン大会が開催されました。

まがたまでも数年前から、出場者が1人、そしてまた1人とつながって増え、近年は「ウオーキングの部」にも参加しています。

今回も7名の職員が出場し「団体賞」をいただきました☆

男女問わず、年齢問わず、仲間とともに楽しく参加し、最後に待ち受ける1138段の階段！「心臓破り」ともいわれるこの階段を、1歩1歩踏みしめて、一人ひとりが、沿道の地域の皆さんの声援、そして何よりゴールで待つ仲間や、家族の声援を受け、秋の出雲路を爽快に駆け抜けました。

(課長 松本啓介)

まごころ込めて 実りの秋に感謝

ハウスに立ち寄ると、そこには艶やかで、ジューシーな、甘い果実が寄り添うように実り、私たちを迎えてくれています。

とまと班では、久々に「ミニトマト」を収穫し、市内のイオンさんに納品させて頂きました。

イベント、地域行事、朝市におきまして、「今日ミニトマトは？」「あら、ないの！残念」という皆様のお声が本当に温かく、私たち生産に携わる利用者様、職員の支えでした。

みなさまお待たせしました！私たちの赤い宝石「まがたまミニトマト」を、どうぞよろしくお願います！！

(班長 下宮雅行)



10月10日、生産班、放デイで、芋ほりを行いました。

放デイの利用児さんは、朝からもうウキウキ。畑では自分の顔よりも大きなお芋を掘り当てると大きな歓声が上がりました。

午後からは、ストーブを準備して、みんなで焼き芋大会をしました。甘い笑顔で「美味い！」の大喝唱となりました。

生産班と一緒に自然の恵みを体感する楽しい機会となりました。

今後利用児さんがよりよい体験ができるように、各部署と連携しながら計画して行きたいと思えます。

(副班長 周藤純子)